

マンホールトイレの整備



地震などの大規模災害に備え、災害時に多くの人が避難する広域避難所に指定された総合公園にマンホールトイレを整備しています。

マンホールトイレは、下水道の地震に対する安全度を高めることを目的として策定された「那覇市下水道総合地震対策計画」の一環で、災害時の避難者の使用を目的として整備しました。普段はマンホール蓋しか見えませんが、使用時にはマンホールの蓋を開けてその上に仮設トイレとテントを設置して使います。

整備場所 新都心公園園路そば

整備数 10基

仮設設備 仮設トイレ:洋式4基、和式4基、洋式ワイドタイプ(身障者用)2基

個別テント:Sタイプ8基、Lタイプ2基(下の設置写真はSタイプです。)

仮設トイレ、テントなどの設備は普段は同じ新都心公園内の備蓄倉庫に大切に保管しています。現在は10基のみですが、今後は同じ新都心公園内の駐車場側に更に20基を整備し、それに合わせて仮設トイレなどの設備も購入予定です。

新都心公園



県立博物館・美術館

多目的広場

マンホールトイレ整備場所



普段はこんな感じ



設置完了!

【お問い合わせ】下水道課 TEL: 941-7808

災害時用

手作り簡易トイレの作り方

近年、個々の防災意識の高まる中、重要な問題として「トイレ」があります。もし災害が発生した場合、下水道施設や下水管路が機能しなくなり、排水処理が出来なくなる状況が予測されます。そのような場合に備えて、「簡易トイレ」の作り方を紹介します。

【手順1】



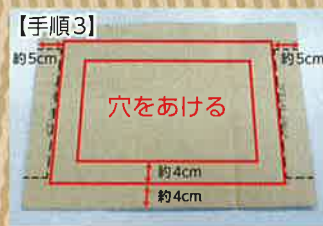
準備すべきもの
・ダンボール箱(便器用)
・ダンボール箱(便座用)
・ごみ袋・はさみ・カッター

【手順2】



便器
ダンボール箱のフタを内側に折り込む。

【手順3】



便座
ダンボール板にダンボール箱の輪郭を書き、ダンボール箱の少し内側まで切り込み(約5cm)を入れる。*便座のサイズに合わせる。

【手順4】



切り込みを入れた横部分を折り込むダンボール板の中心に穴をあける。あけた部分はフタになるので置いておく。

【手順5】



便座を折り込み部分に合わせて便器に付ける。

【手順6】



便器用ダンボール箱にごみ袋を入れ、完成した便座をはめ込み、穴からごみ袋の口を出す。

【手順7】



中に凝固剤や新聞紙を入れる。

【手順8】



最後にフタをかぶせて完成。

『簡易トイレの作り方』については、他にも様々なサイトで紹介されていますのでご確認ください。